

TOEIC 不正利用への対応について

先般の報道（別紙参考）のとおり、TOEIC の不正利用による事件が発生いたしました。

本件への対応として、2025 年 7 月 29 日にアドミッション課より、今後の入試について、次のとおりアナウンスを行うよう依頼がありました。

（2025 年 8 月 26 日（火）～28 日（木）に実施します今回の入試の出願者分については、別途、確認作業等を行っております。）

《今後の入試におけるアナウンス》

TOEIC スコアを求める入試においては、今後はデジタル公式認定証の提出を求めるようお願いします。

既に募集要項等で「紙媒体でも可」としている入試においても、HP や TAO 等で訂正いただき、デジタル公式認定証を提出させるよう周知をお願いします。

<文例>

TOEIC 不正受験に関する報道等を受け、本研究科の大学院入試では、日本国内で実施された TOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコア提出については、デジタル公式認定証のみ受け付けます。

紙媒体のスコアシートは受理できませんので、ご注意ください。

つきましては、工学研究科でも 2025 年 10 月公表（予定）の募集要項より、この方針で対応してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

TOEIC試験の運営団体「2年間で800人余が不正に関与か」発表

2025年7月7日 22時17分

英語能力テスト「TOEIC」を不正に受験しようとしたとして中国人大学院生が逮捕された事件で、試験の運営団体は、この2年間で800人余りが不正に関与したとみられると発表しました。

TOEICの試験をめぐる事件では、京都大学大学院生で中国籍の容疑者がことし、都内の複数の試験会場で偽名を使うなどして受験しようとした疑いで逮捕されていて、警視庁は大学院生が小型マイクなどを使って他の受験者に不正に解答を伝えようとしていたとみて捜査しています。

試験を運営する国際ビジネスコミュニケーション協会は7日、これまでの調査結果を公表し、大学院生の受験票と同じか、酷似した住所で申し込んだ受験者が、先月22日までのおよそ2年間で803人に上ることを明らかにしました。

これらの受験者は不正に関与したとみられるとして、試験結果の無効や、5年間の受験資格の剥奪などを通知したということです。

運営団体では、ほかにも同様の不正が疑われるケースがないか調査を続けるとともに、今後、本人確認を厳格化するなどして再発防止を図ることにしています。

[社会ニュース一覧へ戻る](#)

シェアする ?



アクセスランキング